

家庭科学習指導案

山県郡大朝町立大朝小学校 三宅 千恵美

1 学 年 第5学年

2 題材名 大そうじはまかせて - ごみや不用品を見直そう・生かそう -

3 題材設定の理由

現代の子どもたちは、あり余るほどのものに囲まれ生活している。物のありがたさや大切さを深く考えることもなく生活してしまいがちである。また、家庭生活における仕事の機械化などによって、家庭の仕事を通しての家族とのかかわりも減少しつつある。こうしたことにより、子どもたちは家庭の生活や家族についての関心や意識が薄くなってきている。

そこで家庭科の学習においては、子ども一人一人が自分の生活や自分と家族とのつながりを見つめなおし、そこから自らの生活課題を持たせていきたい。さらに、学習したことを進んで生活に生かし、よりよい生活をしようとする実践的な態度を育てたい。

本題材では、整理・整とんの必要性から入り、清潔に気持ちよく過ごすための清掃の工夫、さらに生活することにより出てくるごみの始末や不用品の活用へと広げる。整理・整とんや清掃・ごみ処理といった身近なところからの実践を通して、問題解決にせまり、家族や地域の一員として必要な知識や技能を身に付けさせたい。また、ごみや不用品を適切に処理したり、活用を工夫して生活に役立つものを製作したりすることにより、消費者教育や環境教育の視点も取り入れ展開していく。

4 題材の目標

健康的で気持ちのよい生活をするには、身の回りの整理・整とんや清掃をすることの必要性がわかる。 【家庭生活への関心・意欲・態度】【家庭生活についての知識・理解】

整理・整とんの仕方や汚れや材料に応じた清掃の仕方を考え、工夫して実践できるようにする。 【生活の技能】【生活を創意工夫する能力】

省資源・省エネルギー、環境保全などの立場から、不用品の活用やごみの始末の仕方を考え、工夫して生活に生かすことができる。 【家庭生活についての知識・理解】

【生活の技能】【生活を創意工夫する能力】

5 学習指導計画（全9時間）

第一次

- ・ 想定した部屋で使いやすい整理・整とんの仕方考え、工夫して実践する ... 1時間（本時）
- ・ 家庭での実践と身の回りの持ち物調べ ... 課外
- ・ 家庭での整理・整とんの実践を基に教室の整理・整とんをする ... 1時間

第二次

- ・ 汚れ調べをして、清掃の仕方について話し合う ... 1時間
- ・ 材質や汚れに応じた清掃の実習をする ... 1時間

第三次

- ・ 身の回りのごみや不用品調べをし、ごみの処理方法について知る ... 1時間

- ・ごみや不用品の処理を実践する
- ・ごみや不用品を活用し生活に役立つものを作る

... 1 時間
... 3 時間

6 学習指導の展開

学 習 活 動	支 援	評 価	準 備 物
整理・整とんの必要性和大切さについて考えよう。			
1 散らかっている部屋を見ながら、散らかって困ることを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の身近な事柄なので意欲的な発言ができるよう声かけをする。 ・発表をふまえて、散らかっていることは時間的、経済的、衛生的にもよくなく、安全でないことに触れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理・整とんの必要性和大切さに気づいたか。【関】 	<p>子供部屋を想定して散らかっている状態の部屋を家庭科室に作る。</p>
整理・整とんの仕方を考え、班でやってみる。			
2 散らかっている部屋を班で分担し、整理・整とんをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・4つのグループ(ダンス、本箱、CDやテープ、机)に分かれさせる。 ・整理・整とんに必要なものは紹介し自由に使う。 ・家庭でしている整理・整とんの仕方や工夫を思い出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班で協力し整理・整とんの仕方を考え工夫しているか。【関・創・知・技】 	<p>「かたづけ名人になろう」カード</p> <p>整理・整とんに必要なもの(ラベル、ケース、仕切りをするもの、かごなど)</p>
整理・整とんで工夫した点を発表しよう。			
3 班ごとに工夫した点を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表から整理・整とんのポイントを黒板にまとめる。 * 持ちものの使いみち * 持ちものの種類、形、大きさ * 置く場所やしまう場所(よく使うものとそうでないもの、小さいものと大きいもの) * 再利用できるもの・ごみとして始末するものを分ける。 * しまったものの表示 ・整理・整とんする前にカメラでとった画面と整理・整とんしたところを比べる。 ・身の回りの持ち物調べや整理・整とんの実践を家庭学習とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・班で工夫したことを発表できたか。【関・創・技】 ・整理・整とんの仕方、工夫のポイントがわかったか。【知】 ・家庭でも整理・整とんをやるという意欲が持てたか。【関】 	<p>デジタルカメラ テレビ</p> <p>「マイホームかたづけ大作戦」カード</p>
整理・整とんをした感想を書こう。			
4 整理・整とんをした感想を「かたづけ名人になろう」カードにまとめる。			

【関】・・・家庭生活への関心・意欲・態度
【技】・・・生活の技能

【創】・・・生活を創意工夫する能力
【知】・・・家庭生活についての知識・理解